

① 「自然」とのかかわりを大切だと思いますか？

思う:100

思わない:0

どちらでもない:0

◇ 理由を教えてください。

・人間主導の考え方では生きていけないため、これからも自然と向き合い触れ合うことが求められると思う。
 ・植物や動物を愛でる心が人との関わりにも生かされるから。
 ・人間の力が及ばない天候や四季の移り変わりを受け入れることで、大らかな心を育てていくことができるから。
 ・命や物を大切にすること
 を教えるのに、やはり、小さい頃から自然とかかわることが必要だと思います。大きくなってからの思い出にもやはり、四季の移り変わりや季節ごとの行事が頭に浮かぶので大切だと思います。
 ・与えられた物ではなく、自分で遊びを見つけていろんなことを学んでいると思うので。
 ・子どもの成長に自然との関わりは必要不可欠だと思います。
 ・動植物や自然と共存していることを無意識に肌で感じたり、恵の雨や風にも時には教委に変わるため、それから身を守る術を知るために大切だと思います。
 ・食べ物など自然の恩恵を受けていると思うので。
 ・すべての物に命があることを教えてくれる身近なものだから。
 ・人間らしく生きるためには、本来自然の中で生活するのがいいのだらうなあと思うので。「自然」からしか得ることのできないものを、五感を通して感じ幼児期である今にこそ「自然」に学び、自ら考え、心豊かに育ってほしいと思うからです。
 ・今は身近に自然がなく、なかなか関わりをもてないので、自然の素晴らしさ、厳しさを体験してほしい。
 ・生き物や植物に触れ合うことは、感性を養う意味で大切だと思うから。
 ・自然とふれあうことで、豊かな心が育つと思うため。
 ・四季を感じたり、自然の恵み(野菜や果物)、命の大切さ(魚や虫)を通じて生きていくと実感してほしい。
 ・かかわりの中で楽しさだけでなく、危険を感じてほしい。
 ・豊かな心、強い体をつくるために必要不可欠だと思います。
 ・生きていくための勉強だと思うので、何より今の時期をととても大切なことだと思います。
 ・市内に住んでいると自然を知りません。娘は小さな虫も恐がり、泣きます。自然はとっても大切です。
 ・植物や動物それぞれが生きていて、その大切さを感じることにより、優しい気持ちも育まれると思うので。
 ・生き物を大事にしたり、きれいな景色に感動したりする心が育つので。

② お子さんは、「自然」とかかわる体験は十分だと思いますか？

○ 思う(31)

・散歩で道沿い、川沿いで草花を見たり、とったりしている。
 ・徒歩通園で、日々沿道の草花などの四季の変化を見ている。
 ・幼稚園の環境が恵まれているので。
 ・園に通うようになってから、小さい生き物のこと、そして、道ばたで見る花や木のことをあれこれ口にするようになったから。
 ・幼稚園の生活の中や実家に帰ったときなどたくさん自然とかかわっていると思います。
 ・休みの日は海、山、川などに連れていき、自然とかかわる時間をとるようにしているので万全ではありませんが、かかわる体験をしている方だと思う。
 ・祖父母宅が田舎にあって、田畑で遊んだり、虫を捕まえたり、身近にできるので。
 ・釣り好きの叔父から生きた魚やイカなどをもらうことが多い。

○ 思わない(42)

・人工的な公園には行っても、海、川、山などの経験はほとんどない。
 ・マンション暮らしで、自然の中へ移動できないので。
 ・マンション暮らし、アスファルトの道路、人工的につくった公園にかこまれているので。市内に引っ越して、まだ地理的なことが分かっておらず、不十分な状態になっている。
 ・自発的に遊べる環境が少ない。
 ・夫の休みが少ないため、自然いっぱい場所へ連れて行けない。
 ・住宅事情で難しい面がある。
 ・ついこの次になっていしまいがちである。
 ・祖父母宅ではよく遊んでいるが、自宅周辺には草花も切り取られ、虫もいません。

○ どちらでもない(26)

・畑遊びが好きで実家で遊んでいるがそれだけでは十分だと思わない。
 ・いつも同じ場所になってしまうので、少し偏っているかと思います。
 ・家や幼稚園など身近な体験はあるが、山、海、川などなかなか行く機会はない。
 ・これまでいろんな体験してきました。マンション暮らしのため自発的にプログラムに参加しないといけない環境にあります。
 ・幼稚園では自然とかかわる体験は十分だと思うが、自宅では室内で過ごすことが多く、十分でないと思うため。

③ 幼稚園以外で、次のような「自然」とのかかわりをしたことがありますか？

	よくある	時々ある	ほとんどない
海や川での水遊び	0	61	39
幼虫探し	17	22	61
小石や木の実花などを集めること	59	35	6
草花を使った色水遊び	0	18	82
近くにある自然のものを取り入れた遊び	12	71	18
草の上を転がったり、滑ったり、木登りしたりするなどの体を動かす遊び	19	56	25
虫捕り	24	29	47
凧を揚げたり、風車を回したりなど風を使った遊び	0	35	65
雨を集めること	6	12	82
季節の移り変わりを肌で感じる	59	35	6
生き物を飼う	29	29	41

◇ 上記のほかに御家庭での「自然」とのかかわりがあったら御記入ください。

・野菜を育てている。・魚釣りをする。・めだかを飼っている。・インコを飼っている。・金魚を飼っている。・オタマジャクシをとりに行く。・空の形を見る。・望遠鏡で月を見る。・ぶどう狩りに行く。・いちご狩りに行く。・みかん狩りに行く。・貝掘りに行く。・萤を見に行く。

④ 幼稚園で捕まえたエビや虫(チョウやバッタなど)をお子さんが持ち帰りたいと言います。どのように対処しますか？

・持ち帰る。・育てられないものは死を分かりやすく教えて、自然にかえしてあげたいと思う。・命ある物に対しての責任であったり、どんな生き物でも生きているという観点からちゃんと自分で世話をできるか？という話をした上で持ち帰って良いものであれば世話をさせる。・捕まえた経過を聞き、様子を観察するように言う。亡くなった場合、命があることを教えて命の大切さを教えます。・命の大切さを伝えた上で、本人の意思を尊重したい。・しばらくしたら自然に帰すという約束の下、飼って一緒に観察する。・可能である限り、持ち帰り、育ててみたい。・持ち帰り、話し合う。・帰す方法をとると思います。「家族が待ってるよ」「お母さんが心配するよ」など話します。・持ち帰り、数日観察した後放す。・持ち帰り、外の方がよいからと放す。・飼いたいと言えば飼い、外へ話したければ放す。・公園へ連れていく。

◇ どうして上のように対処するのか、理由を教えてください。

○ 持ち帰ると答えた方

・一生懸命捕まえようとがんばったものだと思うので。・生きていく勉強や命の勉強のよい機会となり、体験してもらいたいこともあるので。・弱いものにも命があるため。・心豊かな優しい子になってほしいため。・命があることを知ってほしい。・夫にも見せたいという思いがあるから。・生きている、生きるということについて、感じてもらいたいと思います。・生き物に対する興味をのばしてやりたいのと園での感動を家庭でも分かち合いたいから。そして、「最後まで育てる」という責任感をもってくれればいいと思うから。・本人がこだわる理由があると思うので。・図鑑などを開いて調べてみるよい機会だから。

○ 帰す、数日後帰すと答えた方

・まだ3歳なので世話をすると家族の協力、現状では小さい弟もあり、飼育は無理だから。・捕まえたことと、持ち帰れたことで満足している場合が多いこともあるし、狭いかごの中に入れられて

いることと外でのびのびと過ごせるのとどちらがよいのか考える機会にするため。・死んでしまうとかわいそうなので。・その生物が自然の中で生育することが本来のあるべき姿だという子とを教えてあげたいから。・飼育環境が整っていないので。・命があるものなので、狭いかごなどの中に閉じこめるよりも広い世界に戻してあげる大切さを教えるため。・家では上手に育てられないため。・虫なども生きているので自然の中で生きてほしい。自然を大切にしたい。

⑤ 「自然」についてお子さんが質問してくることがありますか？

ある:68

ない:32

◇ 「ある」と答えた方に質問します。どのようなことを心掛けてお子さんの質問に答えていますか？

・小さな生き物にも命と感情があることを中心に話をする。・分かりやすい言葉で子どもが感じたことをできるだけ受け止めるような話し方に心掛けている。・分かる範囲で答え、図鑑を見るようにもしている。・地球に優しいかや命の大切さなど。・最後に自分はどう思うのか聞いています。・はぐらかすことなく本当のことを教えるようにしている。・たまには知らないふりをして自分で調べようにしたり、知らないときは一緒に調べてみたりしている。・具体的に、例を挙げて話すようにしている。

⑥ 食べ物を通して「自然」を意識していますか？

している	あまりしていない	していない
68	32	0

◇ 「している」と答えた方に質問します。どのようなことを意識していますか？

・家庭菜園をして、旬を感じながら野菜をいただいている。・食べ物も自然の一部なので食べ物を残さず食べる。・国産、鹿児島産で旬のものを食べるようにしている。・調理する前の姿が分かる食材を使い、子どもに見せるようにしている。・自然のありがたさを伝えられるようにしている。・野菜がどのようにそだっているか畑を見たり、図鑑を見せたりしている。・釣った魚を見たり、触ったりしてからさばくようにしている。

① 「自然」とのかかわりを大切だと思いますか？

思う:100 思わない:0 どちらでもない:0

◇ 理由を教えてください。

・最近自然が少ない。自然とのかかわり方がわからない様子です。・草花の咲く姿、枯れる姿を目にして昆虫の成長する姿を見守ることで、生命の尊さ、素晴らしさを学ぶことができると思うから。・思いやり心が育つ。・自然を大切にす気持ちや感性が育つ。・感受性を育むため、命の大切さを学ぶため。・天候という自然現象によって生活が左右されたりとても重要なかわりだと思ふ。・自然から学ぶものは多いと思うから。(自分自身もそうだった)・五感が発達しないと思う。・五感を刺激し、考える力、好奇心を育ててくれると思うので。・自然と接することによって心の安らぎを得られるから。・季節を感じ、色々なものを触ったりつくったり、花や虫を大事にする気持ちをもってほしいから。季節や虫などの観察は子どものときにしか体験できないから。・心が豊かになるから。・情操教育の一貫として。・人間は自然の恵みの中でいきているので。・生きるために必要な基本となる大切なこと。・地球温暖化問題など、自然から受ける恩恵は障害を通して自分たちにとって非常に大きいものであり、失ってはいけないため。・いろんな形の「命」があるから。・自然に触れることで自然を知る。・命の大切さや四季を感じられる。昔と比べて自然が少ないから。・自然の中で跳んだり、跳ねたりしながら運動向上にもなる。また、季節感を肌で感じてほしい。・この時期に大切なこと。・私たちの小さい頃は、「自然」とのかかわりは日常だった。意識して「自然」とかかわろうと思ったことも無く、常に「自然」と共にいたように思う。「自然」とのかかわりは、人間の基本基盤ではと思う。・思いっきり遊び、自然とかかわることが、子ども自身の成長にとっても大切だと思う。・人が生きていく上で、「自然」は密接な関係にあると思う。・街中ビルだらけで土と触れ合うことが少なくなっている。また、野菜や魚も切って売ってあることが当たり前と思って欲しくない。第一に五感が発達しないと思うので。・草花を「かわいい」と思う気持ちや、食べ物を大事に扱う気持ちや「思いやり」の気持ちが育ってきている。自分自身が成長するきっかけにもなっている。

② お子さんは、「自然」とかかわる体験は十分だと思いますか？

○ 思う
42

・毎日公園に行き、季節の移り変わりを肌で感じていると思う。・祖父母の家の畑で、野菜の種まきから収穫までのひととおりを自分で経験している。・虫捕りが恒例の行事。・海やキャンプによく行く。・幼稚園の園庭で思い切り遊び、帰宅後は公園で遊んでいる。・四季折々の植物にふれることができる。・先生方が植物の名前を教えてください。

○ 思わない
45

・キャンプ・海に連れていくが、まだまだ一人でかかわれない。・小さな四季を感じることができるから。・幼稚園で自然にかかわるだけで、最近習い事などで土・日に公園に行く機会が少なくなった。・なかなか外で遊ばせていないので、私自身がよくないと思う。・十分とは言えない。でもなるべく体験できるようにしている。・幼稚園で以外では「時間がない」「あぶない」「汚い」と言って自然をゆっくり感じたり、かかわったりする機会があまりないから。

○ どちらでもない
13

・あまりかかわりをもたせていないので。・自宅がマンションで、なかなか自然に触れさせる場所に連れて行けてない。・忙しさにかまけて、家で遊ぶことが多い。・山や海に行く機会が少ない。・生き物を飼ったり、植物を育てたりしていない。・自分たちが幼い頃と比べると足りないと思う。・日常生活では不十分。・園を離れると、あまりかかわれていない。

③ 幼稚園以外で、次のような「自然」とのかかわりをしたことがありますか？

	よくある	時々ある	ほとんどない
海や川での水遊び	10	62	28
幼虫探し	13	23	64
小石や木の実花などを集めること	43	47	10
草花を使った色水遊び	17	1	82
近くにある自然のものを取り入れた遊び	37	4	59
草の上を転がったり、滑ったり、木登りしたりするなどの体を動かす遊び	27	47	26
虫捕り	27	30	43
風を揚げたり、風車を回したりなど風を使った遊び	6	63	31
雨を集めること	13	23	64
季節の移り変わりを肌で感じること	67	30	3
生き物を飼う	37	33	30

◇ 上記のほかに御家庭での「自然」とのかかわりがあったら御記入ください。

・潮干狩りにいく。・魚釣り・花を育てている。・幼虫を育てている。・野菜を育てている。・森林浴や散歩に出掛ける。・タケノコ掘り・イチゴ狩り・イチゴの栽培。ハーブ・田植え・ハイキング・育てている花の成長過程を観察する。・旬の食材を食べる。・七草がゆや栗ご飯など、季節や行事にあった食事をする。

④ 幼稚園で捕まえたエビや虫(チョウやバッタなど)をお子さんが持ち帰りたいと言います。どのように対処しますか？

・当日は「いいよ」と言う。二日後に「そろそろ広い所に帰しましょう」と言って、森や川にかえす。・飼育する。・2～3日観察した後、幼稚園の池に帰す。・持ち帰らせて世話をさせる。・虫かごに入れて観察する。・喜んで持って帰る。・育てられる生き物でしたら家で飼うが、そうでなければ逃がす。・エビは1、2日観察したら園の池に戻す。虫は観察したら逃がす。・持って帰るものと、逃がすものをその時々で対応している。・子どもの気持ちを優先。自宅で育て、どんな環境、食べ物を好むか一緒に考える。うまく育たないところもあるので、その時に生き物にも命があり、適した環境があることを伝える。・捕まえたことを褒め持ち帰る。・幼稚園の池のエビは年少の頃から育てているので、一緒に育てる。ただし、ヤゴなどの肉食の場合は、一緒に住めないことを話して池に帰すように促す。

◇ どうして上のように対処するのか、理由を教えてください。

・エビや虫の本来いるべき所に帰したいです。・上手に育てられず死なせてしまったから。・虫は虫かごで飼うより、自然の中にいるものだと思いたいから。・命が短いため。・死んだときにゴミとして捨てるのは倫理的にどうかと思う。・命の大切さを学んで欲しいため。・子どもの気持ちを大切にしたい。・持ち帰ってはダメというのは子どもがかわいそうな気がする。また死んでしまうのもかわいそう。・家では長く生き物は育たないし、死んでしまうかもしれない。自然の池に帰してあげることが、エビにとって幸せだから。・子どもがうれしそうに持ち帰るので。しかしすぐダメになるのでさみしい。・本人が一生懸命追いかけて捕まえて、よく観察することに意味がある。・生き物の適した環境を整えれば、うまく育てられることもあると教えたい。・観察をして小さいことでもいいので、気付いたり、知ったりしてほしいから。・虫の成長過程や飼育することの難しさを理解してもらう。・幼稚園と家では虫の生活環境が違うため、すぐに死んでしまうから。・図鑑などを見て生き物のお世話をする事により、子どもの探求心や命の尊さなどを学んでくれたらと思う。・世話をしながら話し掛けて会話をする姿が楽しい。また、死んだときに「なぜ死んだのか」と考えている。・自分は虫が苦手だが、すぐに逃がすと「せっかく捕まえたのに」と機嫌が悪くなるので、1～2日して落ち着いた頃に放す。・動物がすぐに死んでしまうのはかわいそうだから。・自分でしたいことをし、その結果どうなるかを知ること大事だと思うから。・生態を知るため。・それぞれ生きていくベストの環境があるから。

⑤ 「自然」についてお子さんが質問してくることがありますか？

ある:87

ない:13

◇ 「ある」と答えた方に質問します。どのようなことを心掛けてお子さんの質問に答えていますか？

・仮想の話をせず、ありのまま伝えることを心掛けている。・あまり上手な答え方はしていないと思う。・鹿児島にはなぜ雪が積もらないの？と質問されたとき、天気予報の日本地図を見ながら説明したり、北と南では季節の違いをわかるように教えている。・よく分かるように説明するようにしている。・暑いときには服を脱ぐ・など教えている。・間違ったことを教えない、親が分からないときは、本やネットと一緒に見て理解させる。・大自然の力で私たちは生かされている。・自然物には季節に応じた花や植物があること。・自然の恵みにより私たちは生きている。・知らないことも多く、適当なことも言えないので、「〇〇はどう思う？」と逆に質問する。・子どもの話が正しくてもそうでなくても初めから「教える」ということはしない。子どもの言っていることを素直に聞くことに徹する。・納得するまで。・名前を伝えたり、育て方を話したりする。・「桜島が爆発するのはなぜ？」「雷はなんで光るの？」など聞かれる。夢のある様な表現で説明しています。・「どうしてだと思う？」と逆に質問し返してみても、「そうだね」と肯定して私の意見を言う。・小学生(兄・姉)の知識も借りる。

⑥ 食べ物を通して「自然」を意識していますか？

している	あまりしていない	していない
90	10	0

◇ 「している」と答えた方に質問します。どのようなことを意識していますか？

・旬のものを食べる。あまり味付けもしない。コーンやじゃがいもだけの夕食もする。・季節の材料を取り入れた料理をしている。・自分の手で育てたものがいかに愛情をかけて丁寧に育てられているか、またそういう物ほどおいしくいただいていると思う。・自然からの授かりを感謝していただく。・草花を飾ったり、枯葉でペインティングや画用紙に貼るなどする。・すべての食べ物には神様がいたので残さず食べるようにする。・泥付きのニンジンを買う。食べる時にきれいに洗って調理すると風味や味が違う。・食育。自分で収穫すると野菜も食べる。・つくってくれた人や、その生き物への感謝の気持ちを込めて、完食すること。・昔の人の知恵や考え方を学ぶことができる。・季節に実る物を教えて収穫し、食卓に上げて喜びを共にする。・なるべく土のついた物やカットされていない野菜などを購入するようにしている。・幼稚園から「旬の食べ物カレンダー」をいただき、子どもが興味をもっているのも、その時期のものをいただくようにしている。・旬の食べ物は身体に良いとよく言う。意識して口にするようにしている。・最近ではスーパーに行ってもどれが旬の食材か分からない。そこで、苗木屋さんで野菜や花の苗を見る機会をつくっている。何回か通ううちに「今はこんな野菜が出てるんだね」という会話が出てくるようになっていく。

① 「自然」とのかかわりを大切だと思いますか？

思う:100 思わない:0 どちらでもない:0

◇ 理由を教えてください。

・感受性を豊かにし、自然というサイクルの中で生きている事を実感するため・自然の力には、人間はどうやってもかなわないと思うから。共存共栄するためにも日常のかかわりは必要不可欠だと考えます。・自分の幼児の頃の自然体験が今でも鮮明に残っているので・「自然」とのかかわりを通して虫の生態や草花のにおい、味など五感で感じることができ、小さな命、季節感などを知ることができるから。・いろいろなことを感じ、考え、それがいつか体験となって生かされると思うから・動植物の命の大切さを学んでほしい。四季の移り変わりとその楽しみ方を知ってほしい。季節を肌で感じたり、生命の大切さを知ることができるので・人間も自然の一部だと思う。生命の大切さや環境などを考えられるから・自分が子どもの頃の体験が今も個々に残り、よい思い出となっているから・私たち人間が生きていくためには自然エネルギーがあるおかげであることを感じ、生命の大切さを学ぶことが子ども自身の成長段階で必要であると思う。自然エネルギーは思いやりなどの精神発達にも大きく影響するだろうと思う。・人間形成の第一の基本であり、子どもの時期にいろいろな体験を通して成長していったと思う。・自然あって私たちは生かされていると思うので・動植物の不思議に興味をもち、生命の偉大さを感じ、気象などの季節の移り変わりを感じることで表現力や感受性の豊かな大人になると思う。・自然を身近に感じるにより、環境問題などへの理解も深まると思うので・実際にかかわることは、本やテレビから得る知識とは違うと思うので・完成されたおもちゃではなく、自然の中で遊びを見つけて工夫し築き上げる過程が子どもの発想力、想像力をより育てていけると思う。・自然の中にある木の葉や石、虫など全てが遊びや学びにつながっていると感じる。自然の中にいるときの子どもの表情が一番生き生きとしているので・自分自身が自然から学んだことが多かったのだ

② お子さんは、「自然」とかかわる体験は十分だと思いますか？

○ 思う(38)

・野菜を育てたり、生き物を育てたり、川遊び、魚釣り等、身近にできることを生活に取り入れている。・天気の良い悪いにかかわらず、家の庭や公園、空き地などで虫捕りをしている。祖父母の田んぼや畑によく出掛けている。・祖母と一緒に自然に触れ合った話を聞かせてくれたり、公園で自然を見つけては言葉や歌に表している。・毎日の虫捕りで、虫に対する興味がわき、池や木・草・花・虫に抵抗なく触れることができるから・園外で何気なく過ごしていても、虫を探したり、草花の名前に興味をもって聞いてくるので・自宅でも木登りをしたり、花を摘んで家で飾ったり、雨や風の日も大喜びで遊び回るので・出来ることは体験させ、手にとらせ、見せるように親も動いている。家の中より外が好きであること、生き物の重みを感じ始めていると最近感じるのだ

○ 思わない(24)

・昔のように身近に自然がなく、あってもつくられた(整備された)自然だから・幼稚園の中では十分だと思うのですが、マンションに住んでいるため自宅の周りにはほとんど自然がありません。・身近にいろいろな経験をする場がないので、普段は家で過ごしがちで外で遊ぶのは休みの日に出掛けたときに限られているので・親である私たちの小さい頃に比べ、自然が身近にない。・自然とかかわれる時間が限られており、親が自然とかかわれるようにしてやらなければならないため

○ どちらでもない(38)

・園の環境が自然いっぱい恵まれているが、虫にはあまり興味がないので・体験をする時間がまだまだ足りないと思う。・自宅の庭にチョウやトンボなどがいるので日頃から触れ合うことはできてはいますが・・・・幼稚園ではとてもいい環境で自然と触れ合っているが、家庭ではあまり自然と触れ合う場や機会がないので・自然の中に出掛けて行くことはかなり意識しないとできないし、頻繁には無理なので・自然とかかわる時間や場所が意識しないとあまりないため

③ 幼稚園以外で、次のような「自然」とのかかわりをしたことがありますか？

	よくある	時々ある	ほとんどない
海や川での水遊び	6	59	35
幼虫探し	21	32	47
小石や木の実花などを集めること	47	41	12
草花を使った色水遊び	6	18	76
近くにある自然のものを取り入れた遊び	32	47	21
草の上を転がったり、滑ったり、木登りしたりするなどの体を動かす遊び	24	59	17
虫捕り	38	38	24
風を揚げたり、風車を回したりなど風を使った遊び	3	62	35
雨を集めること	6	9	85
季節の移り変わりを肌で感じること	65	32	3
生き物を飼う	44	26	30

◇ 上記のほかに御家庭での「自然」とのかかわりがあったら御記入ください。

・季節の野菜とお花を育てている。海に貝を採りに行く。イチゴ狩り、ぶどう狩り、ザリガニ捕り、川でメダカを捕る・祖父母が田んぼで米を、畑で野菜をつくっている。・農園を借りて野菜を育てている。・おじぎそうを育てている。カブトムシ、クワガタを捕りに行く。コオロギを飼っている。・野菜を育てたり、季節に合わせた自然の恩恵体験をさせている。・野菜を育てている。子どもが好きな花を買い、花壇に植えている。イチゴ狩り・海、キャンプ、乗馬、雪遊び・植物などを集めてままごと・祖父母宅に行く、ニワトリのえさやり、野菜や果実の収穫、泥んこ遊び等をしている。・海水浴やいちご、ぶどう狩りに行く。・ホテルの見学・犬の散歩や祖父との野山の散歩・飼っていた生き物の死を敬う(大切に土に埋めるなど)。・朧月に日の出を見に行く。・四つ葉のくろーばー探し・キャンプに行き、まきを集めてご飯を炊いた。・ベランダの植物への水やり

④ 幼稚園で捕まえたエビや虫(チョウやバッタなど)をお子さんが持ち帰りたいと言います。どのように対処しますか？

・持って帰ります。現在、エビ、メダカ、金魚、オタマジャクシ、ザリガニ、カブトムシ飼育中・持ち帰りを許可し、元気に育つよう協力する。・死なせてしまった経験をもとに弱りそうなものは、頃合を見て逃がしている。①エビなどは園で見せてもらい、持ち帰らない。虫などは持ち帰ることがあるが、近くの自然の多い公園で逃がしてあげる。・持ち帰って育てたり、夕方に逃がしてあげたりしている。②一度家に持ち帰り、虫は自然に帰りたいのではないかと問いかける。・エビは持ち帰って飼っている。チョウは「飛べないのかわいそうだね」と自宅前で逃がしてあげる。・一緒に育てている。どうすれば育てられるか本や図鑑を使って調べている。・持ち帰らせて飼ってみる。・捕まえた達成感をもたせたいので、一度は持ち帰りとりあえず育ててみる。しばらくして弱ってきたときや死んでしまったときの気持ちも経験させて、それから本人がどうしたいのか(逃がすか、そのまま育てるかなど)を聞いて対処しています。③持ち帰らずに「幼稚園で生きていたいかもね」と伝える。・世話ができるかを聞き、できると言ったら図鑑などで調べて家で育ててみる。・持って帰らせてしばらくしたら逃がしてあげる。④狭い虫かごではかわいそうだからと話し、説得して自然に帰すようにしている。

◇ どうして上のように対処するのか、理由を教えてください。

・命の大切さ、成長の過程を実感できるので(子どもが生まれる、幼虫から成虫、死)・正直私は虫等は苦手ですが、接しているとだんだん情が芽生えてくるから。・命は平等だから ①1歳の妹がいるため、水槽を置いたり、虫を置くことは危険があるから。・命の大切さを感じてほしいので ②子ども自身が納得した上で行動に移したいので。・エビは水槽を用意すれば飼えるが、チョウは命が短いので・子どもが「家族が一人(一匹)増えた」と喜んでいし、連れて帰りたいという思いを大切にしたいので・命の大切さや不思議さを一緒に感じ、伝えたいから・子どもの意思を尊重したい。・命の大切さを学び、植物や動物の命も同じであることを知ってほしい。・体の仕組みなどを見てほしい。③ペットと比べて観察する生き物は違うこと、エビや虫にも家族や住み慣れた環境があることを話しているの。・生き物を愛する心を伝えたいので・生き物に対する興味を大切にしながら、命の大切さや生き物がどうありたいと思っているのかを考えさせるため・生き物を飼うことに責任をもち、命を大切にしたいので ④捕まえるという行為だけを楽しみにしており、持ち帰ったとしても世話をせず、次の日に死んでしまっていることが多いので

⑤ 「自然」についてお子さんが質問してくることがありますか？

ある:85 ない:15

◇ 「ある」と答えた方に質問します。どのようなことを心掛けてお子さんの質問に答えていますか？

・正確な情報をかみくだいて理解しやすいように答えている。・共感して一緒に考えて考える。・本人に調べてもらい、あえて教えてもらったり、一緒に調べたりしている。・全ての生き物には生命があること、共存し合っていることを伝えるようにしている。・「幼稚園の先生に聞いてみて」と伝えることもある。・図書館で調べることもある。・自然の大切さ、ありがたさ、素晴らしさ。偉大さ、怖さ等その時に応じて話をしている。・一緒に考えてみたり、子どもの発想を大切にしながら心掛けていく。・うそを教えない。分からなかったときは必ず調べてから答えたり一緒に調べたりしている。・テレビや絵本などで質問を受けたときはなるべく実物を見せてあげるよう努力している。・自然が生き物にとってはなくてはならないものであること、心を和ませてくれることを踏まえて話すようにしている。・ただ言葉で説明するだけでなく、一緒に図鑑で調べたり、実験できるものは試したりしてみる。・真実だけを教えるのではなく、あえて考えさせ、その考察を尊重するようにしている。

⑥ 食べ物を通して「自然」を意識していますか？

している	あまりしていない	していない
76	24	0

◇ 「している」と答えた方に質問します。どのようなことを意識していますか？

・魚をとって食べる。野菜を育てて食べる。・旬のものを食べるようにしている。食料品の買出しと一緒に連れて行くようにしている。食事作りの手伝いをさせ、旬のものに関心をもたせるようにしている。・つくった野菜を使って調理をする。・旬のものを食べるようにしている。・休日に田舎に出掛け、畑から野菜をとったり、魚釣りをしたりして夕飯の食卓に並べる。季節の野菜を家で育てるようにしている。・農薬の使われていないものなどを選ぶようにしている。・寒い時期には温まる野菜を、暑い時期には熱を取る野菜をとるようにしている。・鹿児島産のものを意識して購入し、精肉店、魚屋、八百屋に行っている。・祖父母が野菜をつくっているの、その過程を食べながら話すようにしている。・市産のありがたさ＝感謝していただくことを大切にしている。・収穫したものをその場で食べる体験などをさせ、熟れていないものは酸っぱい、苦いなどを一緒に感じている。・もとの形から料理をする。(コーンはつぶではなく、丸ごと皮をむいて見せるなど)・自然の一部であることを伝え、食べ物を残さないようにしている。・野菜の育て方や時期などを食卓で話題にする。・米に関しては食卓に上がるまでの過程を話し、一粒一粒を大切にすることを意識させている。・虫食いの野菜を見せたり、なるべく無農薬野菜をとったりしている。・なるべく添加物のないもの、健康な土で育まれた自然をいっぱい感じ取ることのできる食べ物を取り入れるようにしている。・「今がおいしい時期なんだよ」と教えながら食べるようにしている。

